

年頭のご挨拶

地質調査所長 井上 英二



井上 英二 所長

1989年の年頭に当り 読者の皆様からの地質調査所の研究業務及び地質ニュースに対する常日頃の御理解と御協力に対して深く感謝申し上げます。

当所は1882年(明治15年)創立以来 地質及び地下資源に関する総合的調査研究機関として 一貫してその業務の遂行に努めて参りました。この間の先輩各位の御苦勞と御努力に深く敬意を表するとともに 関係各位の変らぬ御支援・御鞭撻に厚く感謝するものであります。

当所の使命は 地球の高度な認識を基盤とし 資源・エネルギーの調査と評価 災害予測 環境評価等を行って社会に貢献し 併せて地球科学の進歩に寄与することです。同時にわれわれは使命を通じて 人類全体の福祉に寄与せねばなりません。

上記の使命にのっとり 本年におきましても 次の重点課題について一段の努力を重ねて参る所存であります。

1. 国土及びその周辺海域の地球科学的実態の解明のための調査研究

地下資源の評価 国土の利用・保全に重要な基礎資料となる各種地質図(5万分の1地質図幅・周辺海域の海底地質図・空中磁気図等)の作成。

2. エネルギー・鉱物資源の安定的確保のための調査研究

国内外の炭化水素資源・金属・非金属資源・地熱資源の調査 情報の蓄積と解析及び評価手法の確立 リモートセンシング技術等の新技術の開発。

3. 国土の有効利用 環境保全 地質災害の予知・予測のための調査研究

各種地下空間利用 地下水汚染防止 地盤沈下 沿岸域 湖水環境変化の評価 地球的規模環境変化(CO₂問題等)の評価 陸海域の化学的汚染評価 地震予知 火山噴火予知等の分野における調査研究と評価・未来予測手法の確立。

4. 国際研究協力と技術協力

多国間及び二国間共同研究 資源開発に関する国際機関への協力 海外技術者研修 発展途上国への研究者派遣 外国との人材交流等を通じて 国際社会への貢献。

5. 地質情報の整備・解析及び提供

当所の研究成果を中心とした各種情報の収集 整理加工並びに地球科学情報の提供。

これらに加えて 将来の研究開発のシリーズを育て また研究開発の水準向上のために 基礎的先導的研究を推進致します。

このような重点課題を推進するために 当所は昨年10月1日に機構改編を行いました。改編の要点は研究部門を情報管理・普及部門 プロジェクト及び目的研究部門 共通基礎・基盤研究部門に大別して従来の研究部を再編し かつ地質情報センターを設立したこと 地質標本館を部相当の組織にしたこと であります。さらに出先機関を整理統合して 北海道支所及び近畿・中部中国・四国並びに九州の地域地質センターとし 地域の要請により一層対応すべく また地域特性に則した研究を行うよう体制を整備しつつあります。これに関連して地元のかたがたに永年利用され親しまれてきた東北・名古屋両出張所を廃止せざるを得なかったことは 所内外の情勢の厳しさからやむなき事とはいえ 誠に残念であります。これら地元のかたがたには申訳ありませんが 所としては御不便をかけぬよう 今後極力努力していく所存であります。

情報社会の今日 また地球規模で調査研究が進められている現状からみて 地球科学に関する情報の管理と普及はますます重要性を増しております。地球科学の知識の普及に これまで地質ニュースは尽くして参りましたが 今後さらに充実を図って 皆様に最新の地質情報を提供致す所存であります。読者諸賢の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。年頭の御挨拶と致します。